

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和6年度第1回大分県職業能力開発審議会

2 開催日時

令和6年6月27日（木）10時00分～11時30分

3 開催場所

大分県庁新館13階 133会議室

4 出席者

委員：藤本委員、河野委員、藤野委員、古手川委員、新垣委員、阿南委員、
高見委員、清水委員、木本委員、平川委員、藤田委員、大神委員、円福委員
※委任状：向委員、白石委員

事務局：佐藤課長、小林参事、安倍課長補佐、久保田課長補佐、藤本副主幹、
仲野主査、中津留主査、林主任、山本主事

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

なし

7 議題

○産業人材確保・育成プラン〔仮称〕（第12次大分県職業能力開発計画）の骨子案等について

8 主な審議内容及び会議録の概要

議題について事務局説明後、委員からの質疑及び意見を得る。

(意見の概要)

- ① 審議会委員の中にも人手不足分野の方がいる。ヒアリングして計画に反映させるべき。
- ② 今後若者の減少がより顕著になることが見込まれる中で、人口動態は人口推計などにより、今後も含めた長期的なスパンで記載した方がよい。
- ③ インターンシップ参加学生へのインセンティブとして交通費の助成等、また県内就職をした学生に向けた奨学金の返還助成等、支援の仕組みを作っていくべき。
- ④ 福祉施設の職員が障がい者に同行して企業に入り作業する、農福連携の企業版を提案したい。福祉の人員配置制限を取り払うことも検討してほしい。
- ⑤ 若年者の県内就職について、県内大学へ県外から進学した生徒が県内就職をした数を出すなど、流出入を差引きしたデータを見せた方がよい。
- ⑥ 県内企業のDXが進まない理由を掘り下げて調査し、具体的な施策を検討すべき。
- ⑦ 製造業への就職を促進するため、幼少期からものづくりに触れる機会をつくるべき。
- ⑧ 「大分建設人材教育ネットワーク（BUILD OITA）」の取組みは、成果が出ていると感じる。他の産業についても、産学官が連携した取組みや、組織づくりを推進してほしい。
- ⑨ 普通科高校から県外大学に流出した学生に向けて、Uターンを促進する施策を強化すべき。
- ⑩ 親世代にも県内企業の魅力を周知するための取組みを進めていただきたい。

9 会議の資料名一覧

- ・令和6年度大分県職業能力開発審議会委員名簿
- ・(資料1) 産業人材確保・育成プラン〔仮称〕(第12次職業能力開発計画) 骨子案
- ・参考資料1：大分県新長期総合計画策定県民会議資料(一部抜粋)
- ・参考資料2：大分県職業能力開発審議会条例
- ・参考資料3：第11次大分県職業能力開発計画
- ・参考資料4：令和6年度職業能力開発審議会開催スケジュール

10 問い合わせ先

担当課：商工観光労働部 産業人材政策課 職業能力開発班
電話番号：097-506-3330